

あだ花に実は生らぬ



見かけは立派だが実質が伴っていないこと。また、悪事を働く者に都合の良い口実を与えてやること。計画は立派だが成功しないことのため。見かけ倒し。(故事 ことわざ 慣用句)

選挙の時だけの「原発ゼロ」にだまされない

小池・希望の党の「原発ゼロ」公約の裏にある本音

小池氏は

* 10月3日「規制委員会が判断されている再稼働については異論を唱えることはございません」と再稼働容認

* 「フェードアウトにむけたエネルギー政策の一つとして」再稼働を認める

* 公認申請の踏み絵である「政策協定書」には「原発ゼロ」を含めていない

* 知事選挙では「安全性の確保が第一」と言うだけで原発を容認

* 東電の第4位の株主でありながら都知事として再稼働反対や原発ゼロの申し入れを一回もしていない

* 福島事故後には、再稼働への工程を作るべきと主張

* 核武装の選択肢は十分あり得るとの立場から、日本の核兵器保有を国会で現実的に議論せよと声高に主張していた。

2014年4月エネルギー基本計画閣議決定

- 「原発は重要なベースロード電源」と推進路線を明記
- 再稼働を前提に、使用済み核燃料の再利用を進める
- 「もんじゅ」は一部除き続行



2012年衆議院選挙の公約

2017年選挙公約

自民党

40年過ぎた老朽原発を含めた再稼働を推進。新增設も狙う。原発輸出を進め核の拡散に手を貸す。核兵器禁止に反対。北朝鮮を理由に核の保有まで言い出している。

公明党

原発ゼロをめざすと言いながら、アベ政権にベッタリくっつき原発推進政策を続けている

維新

「脱原発」から「フェードアウト」に変更。「やる気ゼロ」状態。避難者支援も再稼働反対もしていない。

いのちを守る願いは一つ



人間の命だけは、作り直すことができません。同じ母親でさえ、同じ子どもは二度と産めないのです。

だれの子どもも、ころさせない。この合言葉を心に刻んだわたしは、思います。

すべての一人ひとりのかけがえのなさを、握りしめるのが、民主主義なのだと。

人の命を紙切れのように扱う政治に、「民主主義」を語ってもらっては困るのです！

わたしたちは、我が子たちを目の前にして、あきらめることを知りません。

「だれの子どもも、ころさせない」世界をつくるために、ママはこれからも声を上げ続けます。

安保関連法に反対するママの会
西郷南海子さんスピーチより

だれの子どもも被曝させない

放射線被ばくからまぬがれ、健康を享受する権利は、だれにでも、ひとしく平等にあたえられる人権です。

とくに、命や健康に直接かかわる、もっとも大切な、基本的人権のなかでも一番大切な権利です。避難の選択は、命をまもるための人としての原則的な行為なのだとわたしは考えます。

この国の憲法は民主主義をささえています。そして立憲主義をうたっています。そのことが本当であるとするならば、避難者であるということを堂々と胸をはって主張していきたいと思えます。

原発賠償関西訴訟原告団代表
森松明希子さんスピーチより

日本国憲法 前文

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。

われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

